

ハリヨの稚魚の展示

ハリヨは岐阜県レッドデータブック絶滅危惧Ⅰ類に指定されています。

岐阜県世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ(所在地：岐阜県各務原市、館長：堀 由紀子)では、岐阜県の希少魚ハリヨが予備水槽内で繁殖し、稚魚を展示するに至りました。今回展示するハリヨの稚魚は、今年の春より孵化を始めたもので約30匹を展示する予定です。孵化直後の仔魚は全長4mmほどですが現在は2~2.5cmに成長しています。ハリヨの稚魚は、3階紙すき小屋にあるハリヨ水槽でご覧いただくことができます。

展示日：平成19年9月7日(金)~

場 所：岐阜県世界淡水魚園水族館“アクア・トトぎふ”

水族館3階紙すき小屋ハリヨ水槽 ※入館料のみで御覧いただけます。

和名：ハリヨ

学名：*Gasterosteus microcephalus*

英名：Naked threespines stickleback



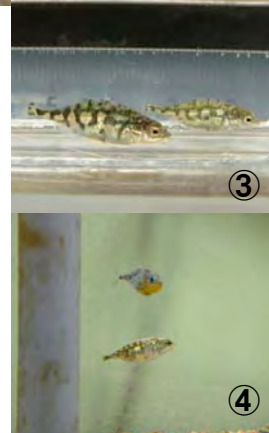
環境省レッドデータブック：絶滅のおそれのある地域個体群

岐阜県レッドデータブック：絶滅危惧Ⅰ類

ハリヨを含むトゲウオの仲間は、北極海をとりまく北半球に広く分布する冷水性の魚で、岐阜県は世界のトゲウオ類の分布の南限にあたります。ハリヨは日本固有種で岐阜県西部、滋賀県北東部、三重県北部(絶滅)にしか生息していません。

体に合計6本の針のようなトゲを持つ魚ということからハリヨという名前が付いたといわれています。ハリヨは湧き水のある池やこれを水源とする河川に生息し、ユスリカの幼虫など小さな生き物を食べます。3月から5月の産卵期になるとオスは植物の破片を集め川底に巣をつくりメスを誘い産卵させます。産卵後もオスは子どもが巣立つまで面倒をみるとても興味深い魚です。

しかし、近年地下水のくみ上げ過ぎによる湧き水の枯渇や埋め立てなどによる生息場所の消失により個体数が減少しています。そのため現在ハリヨは、環境省レッドデータブックでは絶滅のおそれのある地域個体群、岐阜県では棲息地が県の天然記念物に指定されています。



- ① 巣
- ② 巣内の受精卵
- ③ 成長した稚魚
- ④ 上：♂ 下：♀

<この件に関する報道関係の方からのお問い合わせは>

岐阜県世界淡水魚園水族館 担当/北川・高木・国崎 TEL:0586-89-8200 FAX:0586-89-8201

<お客様からのお問い合わせ先は>

岐阜県世界淡水魚園水族館(アクア・トトぎふ) TEL:0586-89-8200 FAX:0586-89-8201

公式ホームページ <http://www.aquatotto.com>

〒501-6021 岐阜県各務原市川島笠田町 1453 河川環境楽園内